

Campus France 短期語学留学プログラム参加報告書（広島大学）

氏 名				
所属学部・研究科	文 学部/研究科 1 年次			
学 生 番 号				
留 学 先 語 学 学 校	CILEC			
プ ロ グ ラ ム 期 間	2020年 2月 24日 ～ 年 3月 20日			
1. 渡航について				
出 国 年 月 日	2020年 2月 22日			
経 路	広島空港→羽田空港→フランクフルト空港→リヨン空港			
現 地 で の 出 迎 え	☐ 有（ 大学関係者 ・ その他） ☐ 無			
帰 国 年 月 日	2020年 3月 19日			
経 路	リヨン空港→ドバイ空港→羽田空港→広島空港			
2. 所要経費について				
所 要 経 費	総額	582500	円	
	内 訳	航空券 費	210050	円
		ホテル(パリでの一泊) 費	15200	円
		お土産 費	10000	円
		その他 費	37000	円
		プログラム参加 費	310,450	円
3. 参加プログラムに関する感想（広島大学用）				
コロナウィルスの影響で早期帰国を余儀なくされましたが、滞在期間中は、とても有意義な時間を過ごすことができたと思っています。 語学学校での授業は、文明・文化に関する授業を除き、全てフランス語で行われました。最初の頃は、先生やクラスメートの発言を聞くことで精一杯でしたが、他の国の留学生からの助言、日本人同士での助け合いのおかげで、徐々に慣れていき、積極的に授業に参加できるようになりました。また、私のクラスは非常に国際色豊かで、中国・韓国・ブラジル・メキシコ・シリアなど、様々な国の留学生が在籍していました。そうした環境も、とても良い刺激になったのではないかと思います。 私はホームステイを選択したのですが、滞在先のホストファミリーはとても親切に接していただき、慣れないフランスでの生活を支えてくださいました。フランス語を教えていただいたり、夕食を一緒に作ったり、休日には一緒に出掛けたりと、非常に充実した時間を過ごすことが出来たと思います。 また、授業のない日には、プログラム参加者とリヨンを巡ったり、泊りでパリを旅行したりなどしました。授業で身に着けたフランス語を実践する、良い機会になったのではないかと思います。 1か月という短い期間で、さらに、予定よりも早く帰国しましたが、密度の濃い、充実した日々を過ごすことができたのではないかと思います。今回の留学で、今後の目標を明確にすることが出来たので、これからもその達成に向け、フランス語学習に取り組みたいと思いました。				
注）1. 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、広島大学HPへの掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。				

Campus France 短期語学留学プログラム参加報告書（広島大学）

氏 名	
所 属 学 部 ・ 研 究 科	文学部/研究科 2 年次
学 生 番 号	
留 学 先 語 学 学 校	サン＝テティエンヌ大学附属語学・文明国際センター
プ ロ グ ラ ム 期 間	2020 年 02 月 24 日 ～ 2020 年 03 月 20 日

1. 渡航について

出 国 年 月 日	2020 年 02 月 22 日
経 路	羽田発 ドイツ（フランクフルト）経由 リヨン行き
現 地 で の 出 迎 え	☒ 有（ 大学関係者 ・ その他） ☐ 無
帰 国 年 月 日	2020 年 03 月 18 日
経 路	リヨン発 ドバイ経由 羽田行き

2. 所要経費について

所 要 経 費	総額		60万円
	内訳	プログラム費	31万円
		航空券費	約 16 万円
		海外保険費	約 1 万 2 千円
		渡航前準備費	4 万円
		お小遣い費	6 万円

3. 参加プログラムに関する感想（広島大学用）

キャンパスフランスの一か月はとても貴重で有意義な体験となりました。まず現地の授業では、年齢も国籍もさまざまなクラスメートとともに会話練習や文法演習などを、ゲームやグループワークを通して楽しく行うことが出来ました。フランスに行ったばかりの頃は、先生やクラスメートが話すフランス語のスピードについていけず大変でした。しかし、そんなときは皆が助けてくれ、私も一層フランス語の勉強に身が入り、プログラム後半にはクラスメートと教えあえるほどに成長しました。また、学内で開催される様々なイベントを通して、違うクラスの人も友達になり、休み時間に一緒にフランス語で会話し、様々な国の文化も知ることが出来ました。次に、生活面ではホストファミリーが支えとなりました。不慣れな土地で、心配なことやわからないことがたくさんあるなか、ホストファミリーはいつも優しく、親身になって一つずつ教えてくださいました。食事でもフランスの伝統的な家庭料理を作ってもらったり、夜には一緒にお茶やお菓子を食べながら映画を見たり、まるで本当の家族のように接していただきました。毎日ホストファミリーと会話をして言葉の間違いをなおしてもらったり、様々な単語や言い回しを教えてもらったりしたことが、確実に力になったと感じています。今回の留学を通して、フランス語の上達を感じる一方で、伝えたいことを100パーセント伝えられなかった悔しさも残りました。この悔しさを忘れずに、いつかまたフランスに渡って、現地の方とより親密なコミュニケーションをとれるように、これからも勉強を続けていきたいと思います。

注) 1. 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、広島大学HPへの掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。